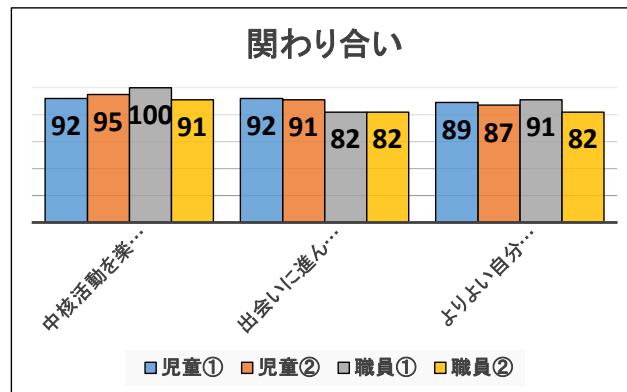
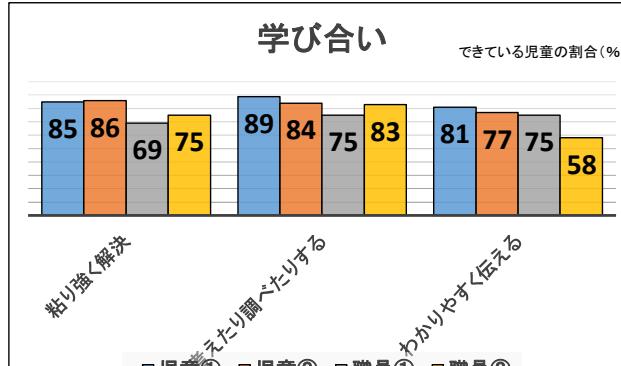
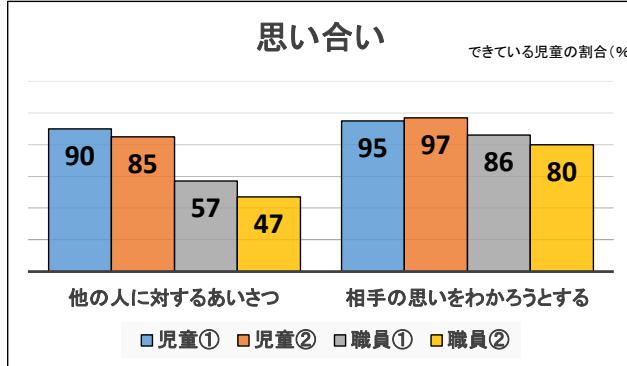


青木小学校 学校評価

1 令和7年度 児童の自己評価・職員による児童の評価（1・2学期の比較）

《①…1学期, ②…2学期》



【重点目標における考察】

○思い合い

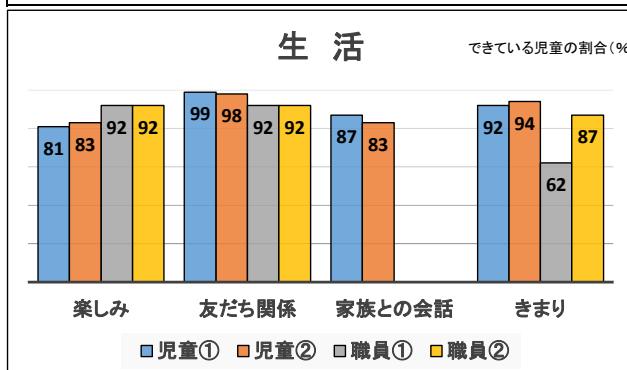
児童と職員のあいさつの評価に大きな差があります。自分から進んであいさつをするという姿を目指して、今年度は、なかよし句間に、学校を明るくする委員会と一緒にあいさつ当番の体験を各クラスの子どもたちが行いました。そこで、自分から元気の良いあいさつをする姿が見られました。これからも相手のことを考えて気持ちのよい挨拶が自分から進んでできるように声掛けをしていきます。

○学び合い

自分の考えを仲間に伝える項目の評価が他の項目に比べて低いです。授業の中で、全体の話し合いで考えを発表することに苦手意識がある子どもがいそうです。ペア、グループによる少人数の学び合いの中で、自分の考えをまとめ、相手に伝える学習形態を日々の授業の中に取り入れていきます。授業の終末、今日、何を学んだのか何に気づいたのかさらにどうしたいのかを共有する場を設けます。

○関わり合い

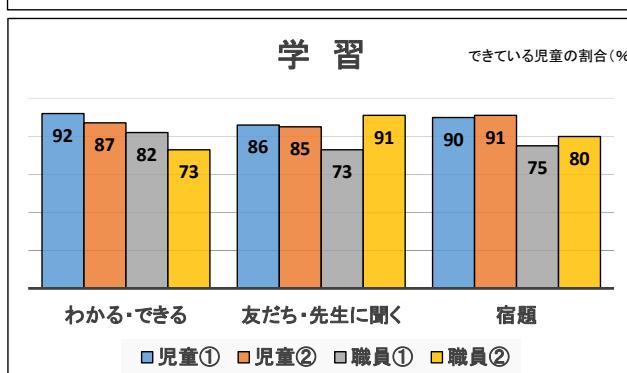
今年度から質問項目が変わりました。「クラスならでは」の活動（中核活動）についての質問になりました。多くの児童や職員が中核活動を楽しみ、人や物との出会いに進んで関わろうとしている様子がアンケートからうかがえます。この活動を通して、よりよい自分になれているという自覚が持てるように活動を更に進めていきたいと思います。



【生活面における考察】（『家族との会話』は職員は評価していません）
「学校に行くのを楽しみにしている」という質問は約8割の児童が楽しみにしているという回答でした。「友だち関係」で「友達を大切にしている」という質問に98%の子どもたちができていると答えています。ただし、友だちの言動で悩む児童もいますので、これからも児童の様子をよく見てていきます。また、ご心配なことがありますら連絡をください。

「家族との会話」は、高学年になると口数が減少する児童もいますが、大人から話しかけて、関わりを持つことが大切です。授業参観日に合わせてお配りしている、「各学年の発達段階における保護者の関わりについて」という保健室から出ているプリントも参考にしてください。

「きまりルール」については、学校や学級のルールやきまりは数多くあることから、職員と児童で守っているという感覚にすれがあります。職員の継続的な指導や委員会の呼びかけにより自分たちでルールをつくる・守るという自治の意識をこれまで以上に高めていきます。



【学習における考察】
「学習」については多くの項目が児童・職員共に80%をこえています。今後も100%になるように、児童が興味関心を持って授業に関わる教材の準備、主体的に活動する場面の設定、ICTの効果的な活用を通して、全員ができた・わかったという達成感を得られる授業づくりをしていきます。そして、誰もが安心して意見を出し合える温かい学級づくりをしていきます。

「宿題」については、90%以上の児童ができると回答しています。さらに自分が学習したことを定着させるための家庭学習になるように、宿題の出し方を工夫するなどして宿題に進んで取り組めるようにしていきます。

あおきっ子を見つめて

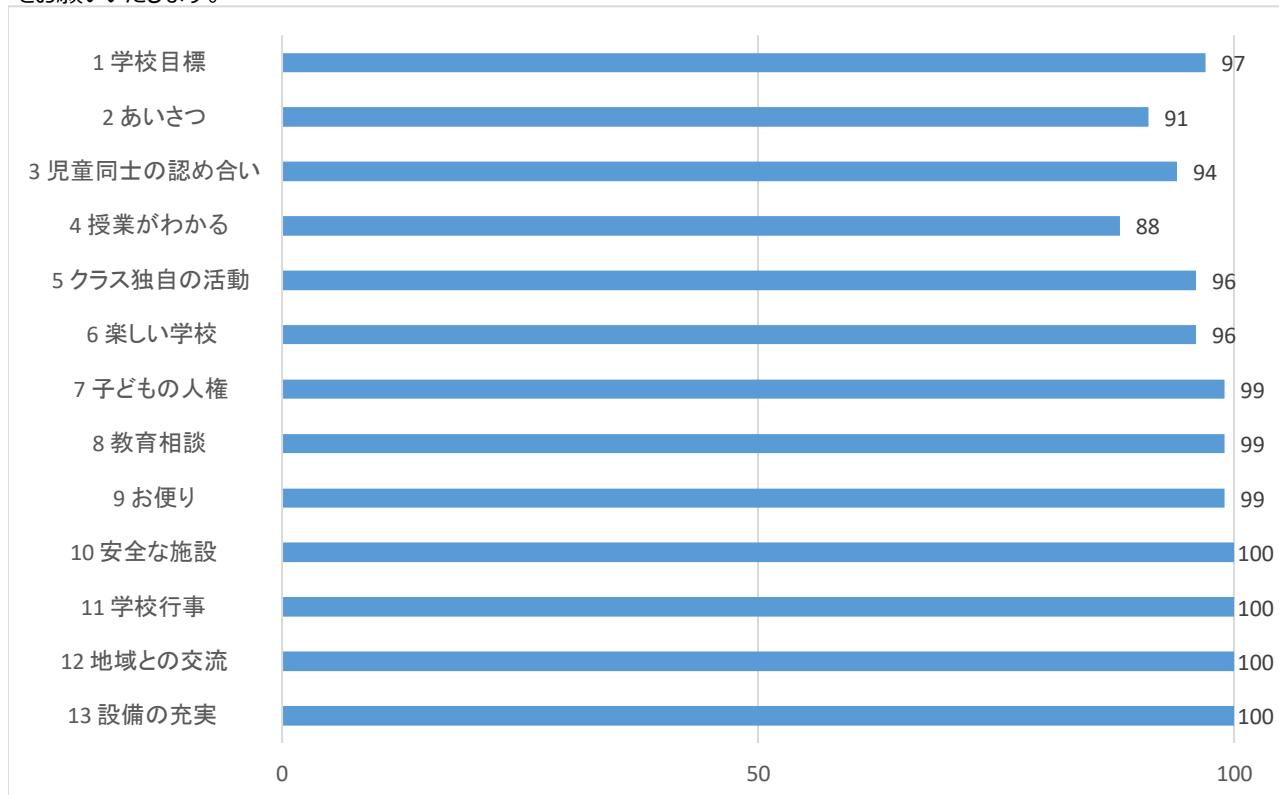
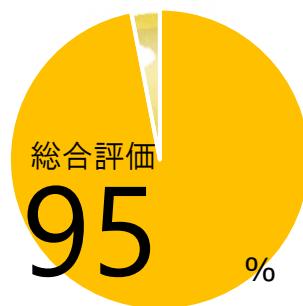
学校評価保護者アンケートの結果がまとまりましたので、ご報告申し上げます。提出していただいた73件中、「そう思う」または「ややそう思う」を総計した結果、総合評価は95%となりました。青木小学校の教育活動に日頃からご理解とご支援をいただいている結果が高い評価に結びついたものと考えられます。

「子どもは、学校でいさつができている」「子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。」この2つの質問は他と比べて評価が少し低いです。いさつについては、されると返す児童は増えていますが、自分から積極的にいさつをする児童は学校でも少ないです。地域でも同じ様子であることが推測できます。学校でも地域でも進んでいさつができる子どもに育つように、学校と家庭連携して子ども達に気持ちの良いいさつについて伝えていきましょう。

「授業がわかりやすく楽しいと言っている」については、子ども達が主体的に授業に関われるようになり、学習問題から課題を子ども達が見つけ、自分たちの考えで見通しを持ち、友だちとアイデアを交換しながら自分の考えを深めていけるような、問題解決型の授業を展開し、児童の学力の向上を図ってまいりたいと思います。また、生活科や総合的な学習の時間を使って、探究的な学習を進め、クラスならではの活動（中核活動）を子どもたちと共に作り上げ、子ども達が学校に来るのが楽しみになるようにしたいと考えています。

これからも生活習慣や学習活動について、多様なアプローチで、子どもたちのサポートを行い、保護者の皆様の高い評価に応えるべく、職員一同、研鑽してまいります。今後とも、ご支援、ご協力ををお願いいたします。

青木村立青木小学校



(%)

体罰に係る調査について

今年度、体罰・暴言が「ある」という答えはありませんでした。保護者の皆様や児童のみなさんにご理解とご協力いただき教育活動ができる成果だと考えています。今後もカウンセリング研修やアンガーマネジメント研修など様々な研修を実施することで、自分の感情をコントロールする力を高め、児童の気持ちに寄り添った支援や子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう努めています。